

## 診療情報を利用した臨床研究について

2025年1月10日 第1版作成

虎の門病院集中治療科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録を日本集中治療医学会が収集したデータを用いてまとめるものです。この研究で利用される情報は各医療機関から日本 ICU 患者データベースに登録する時点で個人を識別する情報は削除されており（匿名化）、個人の特定をすることは出来ません。ご質問やご不明な点がある場合、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

本研究は、日本集中治療医学会が収集した日本 ICU 患者データベースに登録・管理されたデータを使用します。このため下記のホームページにて公開しているデータベース参加医療機関において2015年4月1日～2022年3月31日の期間に中毒を起因としてICUに入室した全患者が研究の対象となります。

### 【研究課題名】

ICUに入室した成人中毒患者における予後と特徴

：日本集中治療患者データベースを用いた後方視的コホート研究

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

本研究の意義は、集中治療室（ICU）に入室した中毒に関わる患者さんの予後に影響を与える原因を明らかにし、中毒患者さんの治療方針の最適化に寄与することです。

#### 《研究に至る背景》

中毒は、一般的に重症化することは少ないとされていますが、一部の患者さんでは人工呼吸器や人工透析など集中的な治療を要することがあります。重症化するリスクのある中毒患者さんの予後を検討することで、適切な治療の方法を探ります。

### 【研究期間】

2025年3月6日 ～ 2026年3月31日

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないよう加工されています。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院集中治療科 において研究終了後まで保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

「日本集中治療患者データベース Japan Intensive care PAtient Database (JIPAD)」  
を利用します

<https://www.jipad.org/>

【研究代表者】

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 集中治療科 早川 桂

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：集中治療科 早川 桂

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

共同研究者：国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 集中治療科 山口和将

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、下記相談窓口までご連絡ください。

この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 集中治療科 早川 桂

電話 03-3588-1111(代表)